

春出しトルコギキョウの開花促進技術

福島県農業総合センター 作物園芸部 花き科

1 部門名

花き—トルコギキョウ—作型、栽培

2 担当者

佐久間光子・宗方宏之

3 要旨

春出しトルコギキョウの3対葉、葉身長24～30mmの大苗を定植し、白熱灯により、16～22時、2～8時の20時間日長処理を行うことで、7～10日程度開花が促進する。

- (1) 大苗は、慣行よりも2週間程度早く288穴セルトレイに播種し、育苗後半に週2回液肥を施用し育成した。苗の大きさは、3対葉、葉身長で24～30mmの苗を用いた。(図2)
- (2) 長日処理(16:00～22:00、2:00～8:00の20時間日長)に使用する光源は、電球形蛍光灯に比べ、白熱灯(電照用電球・みのり75W)が開花促進効果が高かった。(図1)
- (3) 大苗区の切り花は、通常苗と比べて同等の品質が期待できる。(表1)

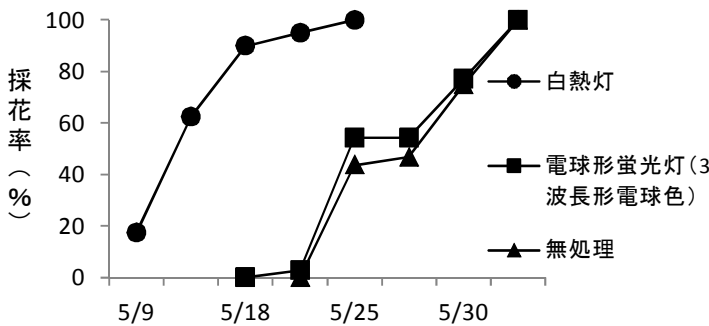


図1 採花率の推移 (春うらら)

注) 電照期間: 定植直後～採花終了
電照時間: 16～22時、2～8時



図2 定植時の大きさ
(春うらら、大苗・通常苗)

表1 定植時期の苗の大きさが切り花品質に及ぼす影響^z

	区	切花長	節数	茎径	茎長	有効花蕾数	切り花重	採花期間
		(cm)	(節)	(mm)	(cm)	(個/本)	(g)	
春うらら(極早生)	大苗区	87.5	12.8	5.2	60.1	6.0	47.2	4/14～4/26
	通常苗区	83.6	12.3	5.2	56.2	6.0	46.2	4/22～5/5
		** ^y	*	ns	**	ns	ns	
一番星(早生)	大苗区	98.5	13.7	5.5	70.2	4.9	45.2	4/17～5/1
	通常苗区	98.0	13.9	5.8	69.7	5.4	43.9	5/1～5/8
		ns	ns	ns	ns	ns	ns	

注) ^z 電照期間: 定植直後～発蕾確認

^y t検定(スチューデント) * : P<0.05 ** : P<0.01 ns : 有意差なし

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 環境制御と施肥量削減による低コスト花き生産技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料